

平成26年 第11回帯広市教育委員会会議録

1. 平成26年5月26日水曜日 11時 ～ 12時20分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

- | | |
|--------|--|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 選挙執行(2) 帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙について |
| 日程第 3 | 議案第 39 号 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について |
| 日程第 4 | 議案第 40 号 帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の解任について
議案第 41 号 帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命について |
| 日程第 5 | 議案第 44 号 帯広市動物園条例施行規則の一部改正について |
| 日程第 6 | 報告第 11 号 専決処分の報告について |
| 日程第 7 | 報告第 12 号 第6回中城ふみ子賞応募結果について |
| 日程第 8 | その他(1) 今後の事業予定について
その他(2) 寄附受納について
その他 |
| 日程第 9 | 議案第 36 号 平成26年度帯広市教育行政執行方針について【非公開】 |
| 日程第 10 | 議案第 37 号 平成26年度帯広市一般会計補正予算について【非公開】 |
| 日程第 11 | 議案第 38 号 帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱について【非公開】 |
| 日程第 12 | 議案第 42 号 帯広百年記念館条例の一部改正について【非公開】
議案第 43 号 帯広市動物園条例の一部改正について【非公開】 |

田中委員長

これから、平成26年第11回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(服部課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び門屋委員を指名いたします。

日程第2、帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙を行います。市之川委員の職務代理者としての任期は、本年6月26日をもって任期満了となることから、平成26年6月27日から平成27年6月26日までの任期における委員長職務代理者の選挙を行うものであります。

お諮りいたします。

帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙の方法については、帯広市教育委員会会議規則第1条第1項の規定に基づく投票と、同条第2項の規定に基づく指名推薦の方法があります。選挙の方法をどちらにしたらよいか、お諮りいたします。

伊藤 委員

委員長職務代理者選挙の方法は指名推薦の方法を用いたらよいと思います。

田中委員長

ただいま、伊藤委員から委員長職務代理者選挙については、指名推薦の方法を用いたらよいとのことですが、このように決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

では、どなたか指名願います。

伊藤 委員

市之川委員を指名いたします。

田中委員長

ただいま、伊藤委員から市之川委員が指名されましたが、この指名にご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

よって、市之川委員が委員長職務代理者に当選いたしました。

市之川委員長職務代理者から一言ご挨拶をお願いいたします。

(市之川委員長職務代理者 就任挨拶)

田中委員長

ありがとうございました。

日程第3、議案第39号、帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

議案第39号、帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。議案書31ページから33ページでございま

す。本件につきましては、帯広市教育研究所条例第4条の規定により設置しております、帯広市教育研究所運営委員会の委員の任期が本年5月31日で満了することから、河合昇男氏、平野有子氏、笹木卓三氏、長嶋有希氏、田中康雄氏、松下政博氏、能戸貴英氏、野原圭介氏、遠藤明德氏、小川由美氏、山内欣子氏、宝輪祐子氏を帯広市教育研究所条例施行規則第6条の規定に基づき、帯広市教育研究所運営委員を委嘱するものであります。なお、委嘱期間につきましては、平成26年6月1日から平成27年5月31日の1年間であります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第39号、帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第39号は決定されました。

日程第4、議案第40号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の解任について、外1件を一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

議案第40号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の解任について及び議案第41号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命について一括してご説明申し上げます。議案書35ページから39ページでございます。最初に議案書35ページをご覧ください。議案第40号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の解任につきましては、帯広市学校給食共同調理場運営委員として任命しておりました、濱口勝彦氏外5名の委員につきまして、推薦団体の役員変更などに伴い、平成26年5月31日付をもって辞任したい旨の申し出がありましたことから、同日付で解任しようとするものでございます。続きまして、議案書37ページをご覧ください。議案第41号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命につきましては、議案第40号で解任となります6名の委員の後任の委員といたしまして、大瀬清嗣氏、和田克恵氏、通山志保氏、小川由美氏、勝部正志氏、高澤義典氏を帯広市学校給食共同調理場条例第6条の規定により、委員として任命しようとするものであります。なお、任期につきましては、前任者の残任期間であります平成26年6月1日から平成27年5月31日までとなっております。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員

これから質疑に入ります。

ありません。

田中委員長

別になければ、質疑を終結いたします。
お諮りいたします。

議案第40号、帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の解任について外1件は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第40号外1件は決定されました。

日程第5、議案第44号、帯広市動物園条例施行規則の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第44号、帯広市動物園条例施行規則の一部改正についてご説明いたします。議案書47ページからでございます。本件は動物園の遊具の廃止に伴い、規則の一部を改正しようとするものであります。議案書49ページの新旧対照表をご覧くださいと思います。規則の別表で遊具の区分と料金を示してありますが、右の表に取り消し線を引いてございます遊具、ドラゴンコースターを老朽化に伴い廃止するものであります。本日写真を配付させていただきますのでご覧くださいと思います。説明は以上です。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点質問します。老朽化ということですが、何年くらい経過しているのでしょうか。

高橋 園長

導入は平成11年になります。老朽化に加えまして、大阪で平成19年にジェットコースターの事故がございまして、それから基準等が厳しくなり、現状の中で動物園での使用は困難だということで、しばらくの間中止にしていたものです。

市之川委員

この廃止に伴い、他の遊具を補充するという考えはありますか。

高橋 園長

新たな遊具の導入につきましては、これらかの動物園の全体の配置等も検討しながら、大型遊具を入れるのか、別な用途で使用するのか、時間をかけて検討させていただきたいと考えております。

市之川委員

分かりました。

田中委員長

他になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

日程第44号、帯広市動物園条例施行規則の一部改正については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第44号は決定されました。

日程第6、報告第11号、専決処分の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第11号、専決処分の報告についてご説明いたします。議案書は51ページからでございます。本件は帯広市図書館協議会委員の任命について、帯広市教育委員会事務委任等規則第5条第4号の規定により次のとおり専決処分したのでご報告するものであります。図書館協議会委員の任期は2年間で、本年4月30日までとなっております。4月中をめぐりに一般公募委員の募集や関係機関・団体からの推薦をお願いしておりましたが、委員候補者が揃った段階で教育委員会会議を招集する暇がなかったことから専決処分したものでございます。このたび選任された委員は、大平剛氏、金山紀久氏、亀井清美氏、坂井弘子氏、菅原典子氏、高倉美恵子氏、山崎則夫氏の7名でございます。任期は本年5月1日から平成28年4月30日までであります。参考として53ページに委員の一覧を掲載しておりますが、7名の委員中、新任が3名、女性が4名となっております。報告は以上であります。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

日程第7、報告第12号、中城ふみ子賞応募結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第12号、第6回中城ふみ子賞応募結果についてご説明いたします。議案書は55ページになります。本件は本年4月1日から4月30日までに募集いたしました第6回中城ふみ子賞の応募結果について報告するものでございます。はじめに賞についてご説明申し上げます。歌人中城ふみ子は乳がんにより31歳で亡くなるまで、その生涯のほとんどを帯広で過ごしました。全国に名が知られるようになったのは、昭和29年短歌研究の第1回新人50首募集に応募し、千通を超える作品の中から特選となったことによるものであります。与謝野晶子同様、一つの時代の短歌の流れを作った歌人であると評価されております。本市はこうした功績を称え、没後50年にあたる平成15年に中城ふみ子賞を創設いたしました。実施にあたりましては、市民との共同により実行委員会を立ち上げ隔年で開催しております。本件につきまして、議案書56ページをご覧くださいと思います。1ヵ月間の募集の結果、前回より15点多い211点の応募がございました。年齢は11歳から88歳まで、47都道府県中42とほぼ全国から応募がありました。更に海外からも応募がございました。管内からは帯広市のみでしたが5点の応募がございました。今後の予定につきましては、5月31日に選考会を開催いたします。選考は佐伯裕子氏、米川千嘉子氏、時田則雄氏をお願いしております。また、5月30日には選者のお一人の米

川千賀子氏による講演会、恋のうた千年を開催いたします。お手元にチラシを配付させていただいております。なお、第6回中城ふみ子賞の贈呈式につきましては、中城ふみ子の命日であります8月3日、とかちプラザで開催の予定でございます。委員の皆様には改めてご案内さしあげたいと思います。報告は以上であります。

田中委員長
市之川委員

これから質疑に入ります。

応募数が前回より増えているのは喜ばしいことですが、道外185に対し、道内26は少なく感じるのですけれど、冷静に判断すると他県も1桁台なので、道内も1つの県と考えると、そうでもないのかという気もいたしました。その中でも帯広が5名というのは少ないかなと感じました。いろいろと周知はされているのでしょうけれど、何かいい方法がないのかなと思いました。アメリカとブラジルから3名の応募があったということですが、この方は日本人の方なのでしょうか。

本江 館長

道内26人ということですが、他県と比較して、委員がおっしゃるように、遜色ない数字かと捉えております。そのうち帯広5名というのは、50首で1作品というのはかなりの力量が必要で、結社等通じまして、管内図書館を通じて周知をしているところですが、今後も工夫してまいりたいと思っております。それから、アメリカとブラジルから応募がございましたが、いずれもそこに在住している日本人でございます。

市之川委員
田中委員長

分かりました。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。

日程第8、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

学校教育部に係わる事業予定についてご説明させていただきます。議案書57ページになります。学校教育課では、教科書展示会がございます。6月13日から26日までは市役所市民ホール、6月13日から7月2日までは、帯広小学校内の教科書センターで行います。教科書に対する関心を高めていただくため、現在、小中学校で使用されている教科書や高校用の教科書見本、平成27年度から使用される小学校用教科書見本を展示します。また、明治から昭和にかけてのむかしの教科書の展示も合わせて行う予定でございます。ただ、高校の教科書とむかしの教科書は市民ホールのみでございます。次に教育研究所では、平成26年第1回教育研究所運営委員会が6月4日に市役所10階会議室で行われます。今年度の教育研究所の運営方針や研究事業について報告するとともに、今後の研究所のあり方について意見をいただく予定となっております。2つ目、平成26年度帯広市教育研究会一斉部会研究が6月13日に森

の里小学校ほかで行われます。教育研究会の会員が一堂に会し、部会ごとに設定した今年度の研究テーマに基づき研修を深めるものでございます。学校教育部からは以上です。

敦賀調整監

生涯学習部に係わる事業についてご説明いたします。件数が多いので掻い摘んでご説明させていただきます。図書館では東日本大震災復興支援活動、本の力巡回展として、6月5日から26日まで、図書館内で本の展示を行います。図書館用品を扱う企業と共催により、全国巡回を行っておりますけれど、会社の周年事業の一環として、3月11日の震災以降に出版された震災関連の本およそ1,400点を一堂に展示・閲覧していただくものでございます。春の図書交換会を6月29日に帯広図書館友の会と共催で開催いたします。次に59ページになります。百年記念館では、帯広百年記念館運営連絡協議会を6月5日に開催いたします。25年度の事業のとりまとめと平成26年度の事業の計画について審議いただくものです。帯広百年記念館では、各種講座、観察会、ロビーコンサートがご覧の内容で開催されます。60ページ、動物園では、小学生の1日飼育係、6月21日に始まります。今年度は8月、10月、12月、2月の5回開催を予定しております。小学校4年生から6年生まで、動物の観察や飼育のお手伝いをしていただきます。スポーツ振興室では、2014フードバレーとかちマラソン大会参加者募集を6月25日から9月30日まで行います。今年は11月2日で3連休の中日でございますので、多くの参加が期待されます。また、各種大会や合宿を誘致するためのスポーツ関係団体や経済界が参加しております帯広市スポーツ合宿・大会誘致推進実行委員会総会を6月4日に開催いたします。以上でございます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

高橋 園長

動物園から寄附2件をご報告させていただきます。1件目は、帯広明るい社会づくり運動会長、河合正満様から、例年、動物園開園前の清掃奉仕活動に使用いたします竹製熊手50本、1万5千円を平成26年4月20日にご寄附いただいております。2件目は、株式会社帯広自動車学校代表取締役、本間良一様から、恒例になっております、おびひろ動物園マップ、58万9,680円相当、今年は昨年より5千部多く4月24日にご寄附いただいております。地域社会貢献として動物園入園者に利用していただきたいということでございます。以上です。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員
田中委員長

ありません。
別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。
事務局から、その他説明事項はありますか。

事 務 局
田中委員長

ございません。
ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。
次の日程第9から日程第10及日程第12の案件については、帯
広市教育委員会会議規則第16条第1項第4号により、日程第11
の案件については、同第3号により非公開にしたいと存じます。

各 委 員
田中委員長

これにご異議ありませんか。
異議なし。
ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱います。
これより会議を非公開といたします。
日程第9、議案第36号、平成26年度帯広市教育行政執行方針
についてを議題といたします。

野原調整監

直ちに説明を求めます。
議案第36号、平成26年度帯広市教育行政執行方針についてご
説明申し上げます。議案書3ページをお開きください。本案は帯広
市教育基本計画の着実な推進に向けて、平成26年度における教育
の基本的な考え方や取組みの方向性などを示すものであります。な
お、本年は市長選に伴い、主な取組みに対する全体予算が確定して
いなかったことから、新年度のスタートにあたり、執行方針に代わ
るものとして、帯広市教育の基本的な考え方を作成し、関係箇所に
配布してきたところです。この度、帯広市教育の基本的な考え方を
ベースに市長公約や6月補正の項目、また、庁内組織であります、
帯広市教育施策推進委員会の意見を踏まえ、本日お示しさせていた
だきました。修正等の箇所につきましては、参考資料としてお配り
しております対照表の下線部分を併せてご覧下さい。はじめに、議
案書7ページをご覧ください。まず、1. 基本的な考え方では、教
育を取り巻く社会情勢や変化、それに対応する教育環境充実に向け
た取組みなどを背景に、帯広市としても、子どもから高齢者まで
の人の成長を見すえながら、一人ひとりの生きる力を育み、国際社
会において力を発揮できる人材の育成をめざし、学校・家庭・地域
が相互協力をしながら、帯広らしい教育を進めていくことを述べて
おります。次に8ページから10ページ、2. 取組みの方向性では、
帯広市教育基本計画の基本理念を実現するため次代を担う人づくり、
ともに学びきずなを育む地域づくりの2つの基本目標と、基本目標
を実現するための基盤づくりについて、市長公約や6月補正も含め
まして、平成26年度の取組みの方向性を記載しております。議案
書10ページ以降の3. 主な取組みでは、教育基本計画の体系に従
い、平成26年度の主な事業について、取組みの方向性と同様に市

長公約や6月補正も含めまして記載しております。説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点よろしいでしょうか。5ページで今回訂正されている箇所、豊かな心の育成というところで、小中学校及び南商業高校における生徒指導アドバイザーによる相談・支援体制の充実ということが明記されています。南商を入れたということで、要望などがあったのだと思いますが、差し支えない範囲で現状について教えていただけますか。

稗田事務長

スクールカウンセラーの配置を具体的には考えてございます。小中学校と道立高校においては既にスクールカウンセラーの配置制度ができておりまして、市立の部分が手薄になっていた状況でございました。少しずつ専門的なケースが出てきておりまして、今回、専門的な方を月1回4時間程度ですけれど、相談体制を強化していきたいと考えてございます。

田中委員長

市立や私立では決して早い方ではないという理解でよろしいですか。

稗田事務長

十勝管内では私立もございますけれど、私立も調べたところ、4校のうち1校はスクールカウンセラーを配置しています。道内市町村立も30数箇所ございますけれど、早い方ではないと理解しております。

市之川委員

文言について、1ページの基本的な考え方の下から3行目から、また、新しい時代を切り拓くために、人材を育むことが重要であるというところは分かるのですが、育むことから羅列してあるので、少し分かりづらいので、どこかで切ったらどうかと思いました。

野原調整監

今の件については、句点のつけ方など、工夫させていただきたいと思います。

伊藤 委員

希望的観測でお話したいと思います。1ページの基本的な考え方の中で、社会情勢の変化から人間関係の希薄化、あるいは規範意識の低下、様々な問題点が帯広でもあろうかと思っています。この方針を読ませていただくと、それらの解決のために様々な施策が散りばめられているのはよろしいかと思っています。私も学校教育や生涯学習の施策を常々見ていて、特に4館連携事業については人間関係を促進するというところで、親子関係や友人関係の絆を更に深めるには非常に効果的な事業ではないかと思っています。以前、市長がおっしゃっていたことを聞いたことがあるのですが、夢とロマンに溢れる先史に触れる取組みということ言われておりました。4館というのは十分に機能する取組みではないかと思いました。8ページの下に適正な維持管理に努めるということから、4館連携事業に関しても、維持管理や運営等について考えていくと読み取っているわけで

すけれども、私の希望ですが、できるだけ4館連携事業に関しては、参加者体験型の企画など、五感を使って公約にあるような夢とロマン、また、先史、帯広の過去に触れることが非常に重要かと思えます。現在、4館連携事業の新たな方向性があるのであればお聞かせいただきたいと思えます。

敦賀調整監

4館連携事業につきましては、この教育基本計画がスタートした年度から緑ヶ丘を中心とする4つの館が連携し、統一テーマで事業に取り組んでいこうということでした。それまで4つの館が同じ社会教育施設でありますけれど、担当者が一堂に会し連携するという機運がなかったのですが、約5年重ねていく中でだいぶこなれてまいりました。取り組みをしていくことによって、周辺の関係する町内会や商店街などからも関心を持っていただいたり、直接ではありませんけれど、ばんえいも協力体制をとっていただいて、昨年度は緑ヶ丘公園での自然観察、ばんえいの馬ソリに参加したり、改めて緑ヶ丘公園を見直す取り組みもしてきております。また、市長の公約ということもございましたけれど、体験も更に加えていこうと考えており、昨年度教員のための博物館講座を行っておりますけれど、4館連携がベースにあって、それぞれの施設が連携し合い、教員の皆さんに話題提供させていただき、授業等に活用していただくという方向性をもってきておりますので、基本計画の後半に入りますけれども、より深みのもった対応ができると思えます。施設の老朽化等については、いろいろ課題がございますけれど、児童会館は昨年度耐震化を行い、今年常設展示室の改修工事にも入ることになっております。動物園でも大型遊具等の問題もありますけれど、全体的な方向性について、今後少し時間をかけながら、研究、検討していきたいと考えております。百年記念館も常設展示室を中心に老朽化が進み、収蔵庫が満杯の状態になっております。こういったことも含めながら、調査、検討していき、市全体としては、公共施設マネジメントとして、施設のあり方について今後検討していく流れがありますので、博物館機能の連携ということで、動物園、児童会館、百年記念館の施設的な連携を意図しながら、将来的な施設のあり方について検討していければと思っております。以上です。

ありがとうございます。

伊藤 委員
門屋 委員

2ページの基礎的・基本的な確かな学力の定着、これが生きる力の基盤とここでは読めるわけです。基礎的・基本的な生きる力というのは、学力は一つの要素だろうと思っているわけです。教育の分野で、学校社会という場で経験することにより、一般社会で通用する社会性を高めていくことは、全体としては当然行われていると理解していますけれども、教育の分野で社会性という言葉はあまり出てこない感じがしますので、どうお考えになっているのか、教えて

いただければと思います。

橋場 部長

文字にしてすべてを表すのは難しいのですけれども、門屋委員がおっしゃるとおり、確かに義務教育9年間の中で取組んでいくべきことはたくさんあるわけです。冒頭の基本計画の中にもありますが、知・徳・体、もちろん学力だけでもいけないし、心も体も健やかにというのが基本的な考え方であります。基本計画の中でも、つながるとい言葉が非常に重要視されていますけれど、私たちも実際に子どもたちを育てていく上で、特に今回もつながりということ、家庭・学校・地域のつながりも大事ですし、また、小学校、中学校の発達段階に応じたつながりなど、いろいろなことを意識しながら進めていこうと考えております。個別の事業一つ一つの中には、そうしたエキスがいっぱい詰まっているものと考えております。私たちも学力ということについては、一義的に捉えていこうということで前面に出していますけれども、子どもの学力を高めるためには、先生との係わり方や友達との係わり方、保護者との係わり方など、社会性ということも意識しながら、その前に、自立した人づくりという言葉がありますけれど、その中にそうしたことも網羅しているつもりではございます。そういうことは意識していかないとなかなか浸透していかないということがありますから、ことあるごとにそういったことを大事にしていきたいと考えております。以上です。

門屋 委員

ぜひ、今のところに配慮していただければと思います。今おっしゃられたように、私はあらゆる場面で人間関係能力をつけるのが教育の基本でもあると思っています。その部分が結果的に問題として起こったことに対応する事業が入ってきてしまっているのは致し方ないことなのですが、先に人間関係能力を高めるための教育の部分はどこなのか、何か具体的なものがないだろうかといつも考えていて、私は教育の専門家ではないので分からないのですけれども、全体で言っているとは思うのですけれども、ぜひ配慮していただければと思っていますところでは。

田中委員長

そこに書いてある生きる力の基盤となる基礎的・基本的な確かな学力の定着とともに、豊かな心や健やかな体を育むとありますが、帯広市の知・徳・体を表した箇所かと思いますが、読みようによっては門屋委員がおっしゃるように、学力の定着が生きる力に結びつくと読めますので、そうであれば不本意だと思いますので、できれば文言修正をしていただきたいと思います。もう1つ、社会性については、言われるとおりのしっかりした形では書かれていないということ、読みようによれば、世代を超えというところが社会性と読めないこともないですが、門屋委員がおっしゃるように少し弱いかなと思いますので、要望ですので、文言を修正できるのであれば修正し、できなければ説明をきっちりしていただく方向性でお願いした

いと思います。

他によろしいですか。

各 委 員
田中委員長

ありません。

それでは、今申しましたが、細かなところで誤解を呼ぶような文言等があれば、事務局で修正するということによろしいでしょうか。

各 委 員
田中委員長

はい。

他になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第36号、平成26年度帯広市教育行政執行方針については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第36号は決定されました。

日程第10、議案第37号、平成26年度帯広市一般会計補正予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

議案第37号、平成26年度帯広市一般会計補正予算についてご説明申し上げます。議案書は17ページから23ページでございます。本件は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べるものでございます。最初に学校教育部関係の補正予算内容についてご説明いたします。議案書21ページをご覧ください。初めに、馬のいるまちづくり事業でございます。この事業は、帯広畜産大学との連携事業として、馬を活用したまちづくり事業を共同で推進するものでございます。教育費に関わる事業といたしましては、適応指導教室ひろびろの児童・生徒を対象とした乗馬など馬とのふれあいの時間を持つものでございます。続いて、家庭訪問相談員の配置でございます。現在4人おります家庭訪問相談員につきまして、1人増員し、市内を東西南北・中央の5つの地区に分け、それぞれ1人の相談員が定期的に回れるよう体制を強化するものでございます。次に、小中連携推進事業でございます。帯広らしい小中連携スタイルとしての、おびひろっ子を育む9年教育プログラムの構築を図るものでございます。その取り組みについて広く周知するため、パンフレットを作成するものでございます。続きまして、土曜日の教育支援体制等構築事業でございます。現在、国におきましても、土曜日の子どもたちの有意義な過ごし方について議論がなされており、国のモデル事業として、地域の多様な経験や技能をもつ人材をコーディネートし、土曜日ならではのプログラムを構築するものでございます。活動内容といたしましては、昔の遊びや伝統文化の体験、地域の自然に親しむ野外体験、算数・漢字等学習チャレンジなどを想定してございます。議案書22ページをご覧ください。

い。教職員住宅の建替えでございます。災害時の危機管理のほか、地域と学校の信頼関係の観点から、教職員住宅を配置しているところでございますが、老朽化等が進んできてございますことから、管理職住宅につきまして、随時建替え等の対応を行っていくものでございます。平成26年度は、広野小の校長住宅改築に係る実施設計等を実施するものでございます。続いて、義務教育施設整備でございます。洋式トイレの設置数の少ない学校につきまして、現在の和式便器のうちの16基を簡便的な手法で洋式便器に改修するものでございます。なお、平成25年度末の洋式化率は35.6%となっております。スクールカウンセラーの配置でございます。現在、中学校に派遣していますスクールカウンセラーを、月1回、帯広南商業高等学校に派遣いたしまして、生徒のカウンセリングや教員、保護者に対する助言などをしていただき、生徒の悩み相談やいじめ問題等に係わる校内教育相談体制の充実を図るものでございます。次の2項目は、生涯学習部よりご説明いたしますので、その下の学校給食地元産食材活用推進事業でございます。地域の様々な方の協力を得ながら、帯広・十勝の豊かな農畜産物の活用をさらに広げ、魅力ある学校給食づくりを進めるものでございます。これまでも地元産食材の活用に向けて、地域の農業・食品加工業の情報収集や個別協議を進めてきたところでございますが、この度、新たに創設されました国の補助メニューを使い、更なる地元産食材の活用を進めていこうとするものでございます。学校教育部に関する説明は以上でございます。

大久保部長

引き続き、生涯学習部関連の補正予算内容についてご説明させていただきます。議案書22ページをご覧ください。まず、新たな総合体育館整備事業でございますが、昨年、実施いたしました基本調査を基に施設の主要設備を具体化するため、基本計画の策定を進めるとともに、建設運営手法を検討するために、PFI導入の可能性調査の実施をしようとするものでございます。基本計画の策定につきましては、生涯学習部のほか庁内関係部により進めることとし、補正予算につきましては、基本計画の取りまとめ業務や図面等の作成、更にPFI導入可能性調査の実施について外部委託する経費を計上しております。ワールドカップスピードスケート競技会の開催につきましては、ワールドカップスピードスケート競技会の帯広開催を支援するものでございます。本年11月14日から16日の日程で開催するもので、過去、本市で開催されましたワールドカップと比較し、競技種目が短距離に加え、中・長距離、団体追い抜き等を含む全種目で開催され、開催日数は3日間と過去の大会より1日延びております。大会の成功に向け、本市負担額を計上するものでございます。次に議案書23ページ、図書館への現金寄附に伴い、

寄附者の方々の意向に沿い、図書館資料等整備費に充当するほか、基金に積み立てるものでございます。説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点だけ、小中連携推進事業の件でお伺いします。おびひろっ子を育む9年教育プログラムを今年度実施していくということですが、従来からあったものの継続なのでしょうけれど、9年教育プログラム周知のパンフレット作成とありますが、これは中学校地区14エリアがパンフレットには全部載るということですか。それともできるところから周知していく形なのでしょう。

村松 室長

おびひろっ子を育む教育プログラムについては、帯広市にいと小学校、中学校の9年間を通してこんな教育が受けられます。こんな子どもたちを育てていきますというイメージ像を共有したいということで、現在行われている様々なプログラムを包括した形で、1つのプログラムにして、一気に周知を図ろうということで、小学校・中学校全戸数印刷して、アピールしていきたいということで特別に予算を計上させていただいています。学校の先生や保護者は元より、地域の方々にも、このような教育が帯広では受けられますというアピールのパンフレットとご理解いただければと思います。

田中委員長

もう少しだけいいですか。質問の意図は要するに、中学校を取り巻く小学校が何校かあると思いますが、それらをすべて網羅する形になるという理解でいいのですか。

村松 室長

具体的なスタイルは完全には決まっておりませんが、ほぼ全部を網羅してインパクトのあるような形にしたいと思っております。

橋場 部長

考え方についてご説明させていただければと思います。小中連携と書かれておりますから、先ほど教育行政執行方針の中でも、義務教育9年間という話が出てまいりました。決して学力だけではないと帯広市としてはアピールしていく必要があるだろうと考えております。土佐の教育改革とか、世田谷9年教育など、それぞれの地域で誇りを持って行われている教育があります。私たちも振り返ったときに、帯広市では早くから宿泊学習では必ず小学5年生が児童会館を使って帯広らしい体験をしていますし、小学4年生では郷土体験として地域の施設を回るなど、中学2年生は自然体験ということでポロシリを中心に自然の中で体験してくるということも行っております。また、外国人講師を活用し、グローバルな視点で外国語活動に取り組むなど、独自の副読本のようなものを作成し、心の教育を進めていくなど、いろいろとちりばめられたものがあります。それを1つに束ねることで、カリキュラムとしてプログラムを帯広市全体のものとして位置づける。これから取り組むものもありますので、その中には全部でき上がっているものではありませんけれど、それ

ぞれのエリアではエリアの特色があり、小学校、中学校1校ずつというところもありますし、複数交わっているところもあります。それぞれ連携しながら、このカリキュラムに取り組んでいくということになりますと、当然すべてのエリアで同じような取組みが進むということではなくて、地域によって特色ある取組みになるのではないかと思います。ただ、基本は帯広らしい9年間の教育プログラムを帯広の子どもたちに提供していきたいということをぜひアピールしていきたいという考えがありまして、今回計上させていただきました。

田中委員長
門屋 委員

分かりました。

帯広南商業高校にスクールカウンセラーを置かれるということで大変いいことだと思います。スクールカウンセラーとともにスクールソーシャルワーカーのことが話題になろうかと思います。基本的な理解として、スクールカウンセラーは1対1の関係の中で心理的なことを中核として支援することでありますけれど、スクールソーシャルワーカーは、その心理的な状況が起こっていることの背景の問題についても取り組むことになるわけです。人と環境の全体関連性が本来的な業務といたしますか、どうしても環境に原因があって個人の問題が生じている無理現象を解決するための方法としては、スクールソーシャルワーカーも当然必要になってくると認識を持っております。今後、両者を配置していく方向性があるのかお尋ねしたいと思います。

稗田事務長

今お話のスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの関係性については勉強させていただきたいと思います。特に南商は女子が多い学校なものですから、悩みが出てきやすい環境になってきていると思います。今お話がありましたように、ソーシャルワーカーもケースによっては当然必要な部分が出てくると思いますけれど、今までスクールカウンセラーというものがなかったものですから、教育相談を強化していきたいと考えております。スクールソーシャルワーカーについては今後検討させていただきたいと思います。

門屋 委員
伊藤 委員

分かりました。

3点ほど質問させてください。1つは、土曜日の教育支援体制等に係わり、モデル校を1校選定するということですが、子どもたちが土曜日日曜日、本来であれば家庭や地域で有意義に過ごすことが重要なのですが、その手助けをする意味合いで、こういうプログラムでモデル校を設定するということですが、あくまでも支援であって、コーディネーターは、10日間以外の土日に関して、地域に積極的に入って過ごしなさいと、常に念頭に置いて指導をしていただきたいものだと思います。家庭教育、社会教育に関する親や地域へのアピールのプログラム等についてはどのよう

に考えられているのか。もう1つは、生涯学習部の新たな総合体育館整備事業について、様々な手続きを踏んで動き出していると思いますけれど、基本計画策定はいつ頃正式に決まるのですか。それから、ワールドカップで1,800万円、前回では総額どのくらいかかったのかと、今回は総額でどのくらいかかるものなのか、1,800万円というのは市の持ち出しだと思いますから、関係団体や道からも支援があると思いますので、総額について教えていただきたいと思います。

村松 室長

土曜日の事業についてお答えいたします。この事業につきましては、今、ご指摘がありましたとおり、土曜日や日曜日、長期休業中も含めて、学校の教育活動がない時の子どもたちの様々な教育環境や教育の場を提供しようというもので、文部科学省が新たに事業として立ち上げたものを利用させていただくということです。これまで帯広においては、学校支援地域本部や子どもの居場所づくりなど、様々な教育活動が行われていたわけですが、どちらかというと学校支援地域本部は学校の先生も係わりながら、教育課程に係わる学校の授業時間に限った部分の色合いが濃かったものです。土曜日の支援事業につきましては、休みの時に先生方が係わらない時に、子どもたちの教育環境を充実させるために地域の大人の力を強くしていこうということで行われるものです。これまで学校支援ボランティアで活躍していただいた方は元より、それ以外の子育てが終わった大人や今までボランティアに係わっていない地域の大人が子どもたちの活動に係わっていただきたいという意味合いを込めて、今回、モデル事業を実施するものです。土曜日日曜日の活用で、子どもたちの教育の場が充実し、更に地域コミュニティの活性化にもつながっていくという目的を持ち進めていきたいと考えております。周知につきましては、学校地域支援本部の様々な会議の中や土曜日日曜日の活動の場面など、子どもたちの居場所づくりの社会教育的な場面でも連携を図りながら、この取組みを広げていきたいと思っております。以上です。

西尾 主幹

2点ご質問がございましたけれど、まず、総合体育館の基本計画についてでございますけれど、基本計画の進めようとしているものの中に、基本計画のそのものとPFIの導入可能性調査を考えてございます。基本計画の策定に関しては、必要な施設や設備などの骨子をまとめさせていただき、それを基に業者発注によります施設の配置、整備概要をまとめていきたいと考えてございます。10月末か11月にかけて中間報告をさせていただければと考えてございます。基本計画をまとめた後、民間の資金を利用した建設、更に運営がいいのか、それとも従来どおりの公共建設で指定管理者のような形がいいのか判断するためのPFI導入可能性調査でございます。

このまとめについては1月を考えておりますけれど、本庁の企画課を中心に、PFI導入ガイドラインを並行して策定を進めてございまして、どのような形で意思決定をしていくのかということも並行して進んでございます。1月、2月にその部分を庁内で決定し、2月、3月中身を決定し、次年度以降の予算につなげてまいりたいという考えで基本計画を進めてまいりたいと考えてございます。それから、ワールドカップスピードスケート競技会のお話がございました。補正予算で1,800万円を一般財源で要求してございますけれども、前回2010年12月に行われたワールドカップの総額はおよそ6,000万円でございます。その時の我々の負担も1,800万円、道からは1,500万円を支援していただき、それ以外は入場料収入、国際スケート連盟、日本スケート連盟からの負担がございました。それから、スポンサーが付いてございますので、日本スケート連盟を通じて、スポンサーからの協賛金も入ってまいります。今年度の予定につきましては、先ほども申しましたとおり、日程が1日増え、種目が多くなるということで、開催日程に限らず、公式練習も増え長くなるということもあり、レンタルリース部分が増えてまいりますので、総額で概算ですけれども8,000万円弱と考えてございます。道にも支援活動してまいりたいと考えてございます。また、入場料、国際スケート連盟、日本スケート連盟の負担、協賛企業の負担で補填してまいりたいということで進めていきたいと思っております。

伊藤 委員
田中委員長

分かりました。

他になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第37号、平成26年度帯広市一般会計補正予算については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第37号は了承されました。

日程第11、議案第38号、帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

議案第38号、帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱についてご説明申し上げます。議案書は25ページから29ページでございます。本案は平成27年度から使用する小学校用教科用図書の採択にあたり、帯広市教科用図書選定委員会条例第3条に定める同条例施行規則第2条に基づき、選定委員を委嘱しようとするものであります。選定委員につきましては、同条例施行規則第2条により、校長、教頭及び教諭、学識経験者及び保護者、専門的知識を持つ教育行政機関の職員のうちから委嘱することになっております。委嘱する方は、春山俊裕氏ほか45名、委嘱人数の内訳は、校長9名、教

頭及び教諭13名、学識経験者及び保護者18名、専門的知識を持つ教育行政機関の職員6名となっております。なお、委嘱期間につきましては、平成26年6月3日から平成26年7月31日まででございます。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点だけ、この委嘱された委員の方々は非公開という形だと思っておりますが、どの時点からか公開されると思っておりますが、教科用図書採択決定後という理解でよろしいでしょうか。それとも答申を受けた後だったでしょうか。

大林 課長

選定委員会の委員の公表方法については、今後、検討することとしています。

田中委員長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第38号、帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第38号は決定されました。

日程第12、議案第42号、帯広百年記念館条例の一部改正について、外1件を一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第42号、帯広百年記念館条例の一部改正について及び議案第43号帯広市動物園条例の一部改正について一括してご説明させていただきます。議案書は百年記念館条例の改正につきましては41ページから、動物園条例の改正につきましては43ページからとなっております。いずれの案件につきましても、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べるものであります。内容の説明にあたりまして、お手元にお配りしてございます資料によりご説明いたします。条例の一部改正は教育委員会所管の百年記念館、動物園のほか、児童会館も同様の改正を予定しており、緑ヶ丘の3つの社会教育施設が足並みを揃え、入園者等の利便性の向上を図ろうとするものであります。改正の内容は3点ございます。1点目は、10名以上の団体の割引料金につきまして、これまでは当日窓口で申請し、割引料金を適用しておりましたけれども、この数年、福利厚生や景品などで使われる実績がありますことから、これらも利用可能とするため、入場券等を10枚以上一括購入する場合も団体の割引料金の対象としようとするものであります。2点目は、通年入場券等について、これまでは窓口で購入していただいた日から1年間有効としていたしましたが、これもギフト等で利用する際

に配慮し、最初に利用した日から1年間を有効期限とするものでございます。3点目は、動物園のみの制度化となりますが、北海道内の動物園、水族館との連携事業の一環として、他の動物園、水族館の通年券の提示があった場合、割引料金を適用しようとするものでございます。この制度につきましても、北海道内の動物園長、水族館長の会議で数年前から検討し、既に千歳さけのふるさと館、小樽市水族館では本市と北海道内の動物園と水族館の通年券を提示することにより、割引の適用ができるようになっておりました。今年度に入り、本市のほかに札幌市円山動物園、旭川市旭山動物園、釧路市動物園が導入済み、または準備を進めていると伺っております。これら条例改正の必要性和メリットでございますが、通年券の提示により、割引制度を行うことについては、他の動物園、水族館との連携が深まるほか、ギフトとして利用する例が出てきており、利用者の利便性の向上につながるものと考えております。また、通年券提示による割引制度は、他の動物園、水族館で本市動物園をPRしていただくことにもなると考えております。改正内容の適用の流れにつきましても、本教育委員会で議決いただいた後、6月の市議会定例会に改正案を提案し、議決後、速やかに施行し、小・中学校の夏休みに間に合わせたいと考えております。また、北海道内の類似施設との連携は、今回の改正は動物園のみであります。こういった動きにつきましても、児童会館は道内青少年科学館など、百年記念館は博物館などへ情報提供し、相互に検討してまいりたいと考えてございます。説明は以上であります。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第42号、帯広百年記念館条例の一部改正について外1件は、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第42号外1件は了承されました。

事務局からの説明は以上ですが、この際、各委員から他に
ご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委 員
田中委員長

ありません。

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成26年第11回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。